

会 議 録

会 議 名	(仮称)小金井市貫井北町地域センター建設 第2回市民検討委員会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	平成22年8月11日(水)午後7時10分から午後9時5分		
開 催 場 所	市役所第二庁舎8階801会議室		
出 席 委 員	渡辺委員長 浅野副委員長 福島委員 仙波委員 多田委員 桂委員 平井委員 零委員 三島委員 中村委員 松尾委員 藤井委員		
欠 席 委 員	伊藤委員		
事 務 局 員	渡辺生涯学習部長 大関公民館長 田中図書館長 上石主査 山崎庶務係長 渡辺事業係長 松下庶務主事		
事 業 者	株式会社 前川建築設計事務所 橋本(代表取締役・総括責任者) 田中(意匠担当主任技術者) 畑野(意匠担当技術者)		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	2人
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会 議 次 第	1 前回までの質問事項等について 2 市民の声を聴く会の報告について 3 (仮称) 小金井市貫井北町地域センター建設基本計画案 について ・設計主旨について ・配置、平面計画について 4 次回の開催予定日について 5 その他 6 配付資料 (1) 質問事項回答一覧(7/14~7/28受付分) …資料7 (2) 市民の声を聴く会の報告 …資料8 (3) 既存施設とのボリューム比較 …資料9 (4) 諸室の大きさ・配置等の検討 …資料10		

## 会 議 結 果

渡辺委員長 (仮称) 小金井市貫井北町地域センター建設・第2回市民検討委員会を開催する。

### 会議開始にあたって

大関公民館長 伊藤委員から欠席の連絡があった。  
お手元に資料7から10までと、月刊こうみんかんを配布してあるので確認をお願いしたい。  
— 配布資料の確認 —  
前回(第1回)会議録の承認をいただきたい  
— 承認 —

### 1. 前回までの質問事項等について

松尾委員より三点の質問が寄せられた  
質問内容及び回答は別紙—資料7参照

#### ●追記

#### 【No.1の質問について】

松尾委員 自由度の高い議論をしたいので、前川案の制約をどこまで受けるのか知りたい。

渡辺委員長 全くのゼロから始めるのは無理であって、前川の提案のどこが良くて、どこが悪いからこうしてほしい等の議論をしないと先に進まない。

#### 【No.2の質問について】

渡辺委員長 この委員会で前回議事録の内容を承認して、順次公開していくということか。

山崎庶務係長 その通りである。配付資料の回答欄にもあるように、1回目の配付資料のうち平面図については第二庁舎6階情報公開コーナー、図書館本館、議会事務局図書室に配置する会議録には添付するが、ホームページには掲載しないこととする。

松尾委員 全部の配布資料を添付した会議録については、3箇所(第二庁舎6階情報公開コーナー、図書館本館、議会事務局図書室)に配置する旨をホームページに掲載してほしい。

山崎庶務係長 了解した。

#### 【No.3の質問について】

渡辺委員長 この点については非常に重要な部分であるので、改めて松尾委員からご指摘いただいたということだと思ふ。

今後このような形でご質問いただければ、会議の冒頭で回答がいただけるので、宜しくをお願いしたい。

### 2. 市民の声を聴く会の報告

別紙—資料8参照

山崎庶務係長 先日開催された「市民の声を聴く会」でだされたご意見、ご質問、ご要望等及びその際の質疑応答等をまとめたものである。今後の検討委員会の際に市民のご意見として取り上げてご検討いただきたい。

渡辺委員長 市民の声がここに書かれているので、それらの内容を参考にして今後検討を進めていきたいと思う。

### 3. (仮称) 小金井市貫井北町地域センター建設基本計画案について

映像を使用した説明 (前川・田中)

- ・施設全体のコンセプト (平面計画・断面計画・環境配慮等) について
- ・駐車場について
  - A案: 4台駐車 (一般利用者用2台)、駐輪場90台
  - B案: 8台駐車 (一般利用者用6台)、駐輪場80台
- ※延床面積 (地域センター+北一会館) が 2,000 m<sup>2</sup> を超えると、付置義務として8台必要になる
- ・図書館について
  - 児童コーナー・ブラウジングコーナー・開架書庫・閲覧コーナー・貸出カウンター廻りの設えや什器備品、公共図書館の事例を用いた説明
- ・公民館について
  - フリースペースのイメージ、可動間仕切りやガラスの間仕切りについての説明

渡辺委員長 前半は施設のコンセプトについて、環境配慮についてはメニューを並べていただいたが、予算にも関係するので検討委員会だけで結論が出るものでもない。この席では要望を出すに留めて、前川事務所に判断してもらうことになるのではないか。本来の目的は市民が使い易い施設にすることであり、その上で環境にも配慮していただきたい。

#### 【駐車場について】

渡辺委員長 2案お示しいただいたが、皆様のご意見をお聞かせください。

三島委員 地元の方から陶芸教室用の窯がほしいとの要望がありましたのでお伝えします。駐車場や駐輪場にも絡む話だと思う。

雫委員 おおよそ12帖ぐらいあれば可能なので、北一会館との間であれば問題ないと思われる。貫井南センターに窯がなくなり、緑センターのものは使いにくいので是非北町センターにほしい。駐輪場はかなりの台数が必要になると思う。

渡辺委員長 前回の委員会でお子さん連れの方に対する配慮というのがありましたが、それについては2台程度で宜しいものか。

前川・橋本 前は必要ないとの意見も出ましたし、市内の他の公民館は車での来館は禁止になっている。

三島委員 「公民館ご案内」のなかに車では来ないようにと謳われている。送迎用の転回スペースを確保する程度で、むしろ駐輪場を多くとるべき。

藤井委員 駐輪場を多くして、A案の一般利用者用の2台もなくした方がよい。2台というのは中途半端で、とめられない人が路上駐車に流れる恐れがある。公民館は車の利用が出来ないという認識が利用者のなかには既にあると思うので、一般利用者用は必要ない。

渡辺委員長 確かに2台というのは中途半端で、待ち行列が出来てしまう恐れもある。8台おさめていただいた案も、かなり無理矢理押し込んだ感があり

、事故が起きる恐れも否めない。お子さん連れの方が利用しづらいということはあるが、身障者用スペースが1台分あるので、他の利用者の理解を得られれば、そこに止めることは可能だと思う。

但し、他の方のことも配慮して短時間の利用のみとすることも。

平井委員  
渡辺委員長

2台では中途半端で効果がないように思う。

JRのシルバーシートは高齢者の方だけでなく、小さなお子さん連れの方も利用できるが、それと同じように市民のコンセンサスが得られれば障害者以外の方も利用できるということもあるのではないかな。

平井委員

公共施設間を廻るバスを走らせることで、自家用車以外の交通手段を利用できたらよいと思う。

仙波委員

駐車場はサービス用のみで身障者用もなくし、車の利用は無理であることを明確にしたほうがよいと思う。お子さん連れの方についても、昔は子どもの手を引いて連れて歩いたものだから、今の親御さんにも出来ることではないか。車で来館できないから施設を利用しないというのは如何なものか。

渡辺委員長

身障者用までなくすというのは如何なものか。施設の優しさというものは必要だと思う。

桂委員

緑公民館で10年ほど日本語教室を開いている。緑公民館は車での来館は駄目で、身障者用すらない。日本語教室でイベント等を開催する時には、どうしても車で行かざるを得ない場合もあり、そういった時には館長に相談して一時的にとめさせてもらっている。お子さん連れの方については、読み聞かせ会の時などには手を引いて来られたり、自転車に乗せて来られたりして問題ないように見受けられる。一応4台分確保出来るのであれば、それを廻して使っていけばよいし、万が一身障者用が重なってしまった場合には、その都度公民館と協議すればよいと思う。

— 中村委員、三島委員から賛成の声あり —

松尾委員

私はA案でよいと思う。窯をつくる上でもその方が都合がよいのではないかな。

三島委員

長時間の駐車は禁止すべきだと思う。

渡辺委員長

この場のコンセンサスとしてはA案として、また自転車の利用を奨励し、公共交通手段については市の方でも検討していただくことで宜しいかな。

— 賛成 多数 —

渡辺委員長

今後、A案をベースに検討していただき、併せて陶芸教室のこともご検討いただきたい。

前川・橋本

陶芸教室で使われる窯は電気窯か。

三島委員

電気かガスか軽油だと思う。

前川・橋本

今回の要望としては、陶芸用の工作室がほしいということか。

三島委員

その通りである。

【図書館について】

渡辺委員長

今日一日で解決することではないと思うが、ご意見をお聞かせください

い。

松尾委員

閉架書庫を壁で仕切って部屋にしているが、事務室内に可動集密書架を配置した方が職員にとっては使いやすいです。南北に縦長のところを横長にすることで北一会館との間が広がり、窯を置くスペースにゆとりができるのではないかと。

中村委員

電子書籍への対応はどのようにお考えか。

田中図書館長

電子書籍の実用性については現時点では多少疑問があるが、3、4年後に数が増えていけば使えるような思いもある。中村委員がイメージしていらっしゃるの、ダウンロードして閲覧できるようなものか。

中村委員

その通りである。

田中図書館長

それについては現時点で検討していない。今回を足がかりにしていきたい思いはある。

中村委員

電子書籍を導入することで、蔵書数を減らすことが出来るのではないかと考えている。10年後、20年後にはかなり普及していることが予想されるので、将来を見据えた施設の造り込みをしておいていただきたい。紙の蔵書と電子書籍の割合をどうするかは考えなければならないが。

前川・橋本

システムについては色々なメーカーがあるので我々はやらないが、それらに付随する配線・配管等はこちらで検討しなければならない。床や壁に取り出し口を設けたり、床全体をOAフロアにすることも一つの手段で、将来的な模様替えにも対応出来る。このあたりは運営に絡むところでもある。

渡辺委員長

市の狙いのようなものはあるか。

田中図書館長

この地域は図書館の空白地域であるため、何かに特化した図書館ではなくオールラウンド型の図書館を考えている。現在の図書館が狭隘化しているため、ゆとりのある図書館にしたいと考えている。

松尾委員

BDSは導入されるお考えか。

前川・橋本

BDSとは(Book Detection System)のことで、図書やAV資料の不正持ち出しをチェックするシステム、盗難防止ゲートのことである。

田中図書館長

財政との関係もあるが、貫井北町を足がかりに導入していきたい。

平井委員

市民講座や、文庫連で活動する方々からは、原案では児童コーナーが狭い、お話しコーナーがほしいという意見が出ていたが、本日いただいた案では児童の部屋ができています。その方向でやって欲しい。読書離れを指摘されている小学校高学年から中学生を対象とする本も置きたいので、子どものスペースにゆとりをもたせたい。図書館だけではなく公民館にも関係することだが、ボランティアの方々が集まって作業する部屋をつくらせていただきたい。色々な方と出会うきっかけとなり、ふれあいの場所にもなる。他の活動への参加意欲を高めることにもつながるのではないかと。

松尾委員

児童コーナーではお話し会やクリスマス会など色々な企画が考えられるので、絵本書架をキャスター付にして、自由に動かして広く使えるようにしてはどうかと考えている。それを考慮して床面をつくらせていただきたい。公民館内部の青少年施設(中・高校生の居場所)と図書館のヤングア

ダルト部門を連携させることが出来ないものか。AV資料・地域資料・参考図書といったものをコの字型のコーナーをつくることで、中に閲覧机を置くことも可能である。イメージとしては滋賀県の湖東図書館が挙げられる。

ロビーの一部に吹抜けがあるが、階段を螺旋階段にすることで、よりオープンな雰囲気になるのではないかと。

前川・橋本

螺旋階段は法規的な制約が多く、大きくとることが出来れば可能である。

前川・田中

今、松尾委員がおっしゃられたのは、例えばエレベーターシャフトや階段室がガラス張りのようになって、1階と2階が吹抜けを介してつながるようなイメージではないか。この図面では壁に囲まれています。今後検討すべき課題の一つである。

松尾委員

羽村の中央図書館はエレベーターの周りを螺旋階段が廻っている。

前川・橋本

かなり面積はとりますが、それくらい大きくなれば可能である。

#### 【公民館について】

前川・橋本

先程、具体的に工作室というお話が出てきましたが、他にどのような部屋が必要か。市民の声を聴く会では音楽室がほしいという意見も出ていた。音楽室の場合には可動間仕切りでは音がとりきれないので壁で囲うことになる。我々の提案は、こういうことも出来るという可能性を示しているだけで、こうしなければならないというものではない。どういう部屋がほしいのかお聞かせいただきたい。

藤井委員

陶芸用の工作室か。

三島委員

陶芸そのものは机でやるが、用具をしまっておく部屋や水洗いをする設備が必要になる。

藤井委員

緑分館を参考にしてやれば、工作室は必要ないのでは。

渡辺委員長

粘土がながれるので、それような設備は必要になるが、大掛かりなものではないのではないかというご意見だと思います。

三島委員

専用の部屋というのではなく、用具をしまうスペースや設備について配慮していただきたいということである。

前川・橋本

どういう用途に使うかさえ分かれば、その付帯設備は判断できる。

渡辺委員長

前川の案はフレキシブルな素地をつくってくれているが、どのような部屋を何部屋ほしいかということは、この検討委員会で意見を出していないと設計が滞ってしまう。

三島委員

料理教室も考慮していただきたい。

渡辺委員長

今回の集会施設はどのような位置づけで、どの程度まで整備されるお考えでしょうか。

大関公民館長

公民館の職員サイドで検討した必要諸室については一覧にして、次の検討委員会に提出したい。

渡辺事業係長

他館ではどのような部屋があって、どのような部屋がないといった内容も併せて提出させていただき、小金井市全体で見たときに、北町に何が必要かといったところが判断しやすいかと思う。

松尾委員	今年の春に社会教育委員、公民館運営審議会と図書館協議会の三者懇談会があり、共用でも構わないので集まれるスペースがほしいとの意見があった。
浅野副委員長	要望をすべてきいていたら部屋が幾つあっても足りなくなってしまう。北町は四つ目のセンターになるが、四つとも同じセンターをつくるのか、何かに特化したセンターとするのか市のお考えをお聞きしたい。
渡辺生涯学習部長	市としては特定の考えをもっていない。希望を言わせていただくと、市内に工作室がない現状で要望はかなりあがっている。市内を見回して不足している部屋をつくれれば利便性が上がるという考え方はあるが、こうしなければならないという考えを市民検討委員会に示す考えはない。先程、松尾委員からあった三者懇のスペースというのは、市としては受け入れがたい。
藤井委員	社会教育施設という概念のなかで、青少年の施設というのが50㎡程度というのが、全体のバランスからどうやって出てきた値なのか。
渡辺生涯学習部長	基本的な考えを昨年9月の議会で示している。建物全体で概ね2,000㎡程度、図書館が600㎡程度、公民館が500㎡程度、青少年施設が50㎡程度としている。 何故50㎡程度としているかについては、青少年の施設をメインで建てた場合、児童館のような施設にならざるを得なくなってしまう、出発点である音楽が出来る部屋や若者が集まれる空間と違ってきてしまう。青少年の施設に特化せず、公民館の一部にそういった場所も備えているというイメージで50㎡としている。青少年の施設があまり大きくなりすぎると、所管自体が公民館で不可能になってしまう。今回は図書館が600㎡程度、公民館が500㎡程度、青少年施設が50㎡程度という基本的なところは崩さずに議論していただきたい。
藤井委員	そういった説明は最初に伺いたかった。青少年と児童は違うのではないか。青少年は基本的に中学生・高校生を示すのでは。貫井南の子どもたちも利用できると考えて宜しいのか。
渡辺生涯学習部長	考え方として、何歳から何歳までという区分けはもっていない。小学生では部屋の利用となると制約を設けざるを得ないが、あまり厳密な考え方はしていない。
藤井委員	中・高校生に絞った方が議論しやすいのではないか。小学生から大学生まで議論の対象とするのか。
渡辺生涯学習部長	そういった議論をこの場でしていただければ、参考にして我々も考えていきたい。現時点では、こうならねばならない、こうであるということは決めていない。中・高校生が無難であるということになれば構わないし、もう少し巾を広げた方がよいのではないかと話になればそれでも構わない。市としては限定的な考えを示すことはしないということを理解していただきたい。
渡辺委員長	とはいえ、出来たあとはよく使ってもらわなければならないので、検討しなければならない部分ではある。音楽室などの若者が使いたい部屋について皆さんにも考えていただきたい。

平井委員 工作室はあってほしい。家事室も要望があるが、面積が限られているので難しいのだろうか。

渡辺委員長 フリースペースを削るしかないのだろうが、図面に面積が書かれているのも、そういった点をあたりに置きながら、夢を膨らませて下さいという思いが込められているのだろうと思う。

平井委員 センターに協力する市民の集まるスペースを設けてほしい。

渡辺委員長 次回、もう少し大きな図面で検討してはどうか。

前川・橋本 四つの公民館が連携することによって、よりよいサービスが出来るように考えていかなければならない。平井委員がおっしゃったボランティアの方々が集まるスペースも、館の運営方式によってはもっと大きく中央に設けることになることも考えられる。フリースペースの使い方についても次回に検討しては如何か。

渡辺委員長 次回は公民館を中心にやりたいが、図書館でもヤングアダルトの部分ももう少し詰めた状態で説明していただきたい。

渡辺委員長 ー 模型を取り出し、中央に置く ー

渡辺委員長 本日の検討委員会は終了するが、終了後に各自ご覧になっていただきたい。

#### 4. 次回の開催予定日について

多田委員 この敷地の近くの中間処理場に新しい事務棟ができたので、そこを会議で使わせてもらうか、北一会館を利用させてもらうことは出来ないか。

山崎庶務係長 中間処理場は平日の日中でないと使用できない。

粟委員 北一会館は児童図書館にもなっているので無理ではないか。

渡辺委員長 せっかくの名案ではあったが残念ながら無理そうである。

前川・橋本 一度全員で敷地を見に行くのはよいと思う。

仙波委員 朝は6分間隔、昼でも6分間隔くらいでバスが走っているの、非常に交通の便は良い。

渡辺委員長 学会の仕事の都合で次回の開催日程が当初の予定では私の出席ができないので、他の日程で皆さんのご都合を伺いたい。

山崎庶務係長 9月でこの会議室が利用できるのは、第四日曜午前、第三、四、五水曜夜間になる。

**第3回市民検討委員会 9月26日(日) 10:00~12:00に決定。**

#### 5. その他

山崎庶務係長 委員長からのご提案もあり、委員間の連絡用に委員のメールアドレス、FAX番号等の連絡先一覧を配付するのでお取り扱いにご注意願いたい。(別紙配布)

(仮称) 小金井市貫井北町地域センター建設  
第2回市民検討委員会次第

日 時：平成22年8月11日(水)

午後7時～

場 所：市役所第二庁舎8階

801会議室

- 1 前回までの質問事項等について
- 2 市民の声を聴く会の報告について
- 3 (仮称)小金井市貫井北町地域センター建設基本計画案について
  - ・ 設計主旨について
  - ・ 配置、平面計画について
- 4 次回の開催日程について
- 5 配付資料
  - (1) 質問事項回答一覧(7/14～7/28 受付分) …資料 (7)
  - (2) 市民の声を聴く会の報告 …資料 (8)
  - (3) 既存施設とのボリューム比較 …資料 (9)
  - (4) 諸室の大きさ・配置等の検討 …資料 (10)

(仮称) 小金井市貫井北町地域センター建設市民検討委員会

資料7

質問事項回答一覧 (7/14~7/28受付分)

平成22年8月11日配付

No.	受付日	質問者	質問事項	回答
1	7月24日	松尾昇治	<p>貫井北町地域センターの建設に当たっては、建築家の選定をプロポーザル方式でおこない、前川建築設計事務所に決定したわけですが、提案に至る前に、市の考えをまとめた「仕様書」があると思います。さらに、その仕様に基づいて提案された前川建築設計事務所の提案内容（コンセプト）もあります。基本設計から議論する本委員会において、前2者はどの範囲で制約を受けるのでしょうか。敷地面や法的規制は当然に制約条件になりますが、図書館や公民館の機能等は委員会での論議の中で決まっていくものと理解しています。基本設計の段階での論議では、自由度が広い方が良く思っておりますので、ご教示ください。</p>	<p>市が仕様書の中で、設計について主に示しているのは次の4点です。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 環境に配慮し、多くの可能性を検討する中で、最適の案を選択できるように努める。</li><li>2 行財政の視点を持ち、建設時だけでなく、当該施設の運営、維持管理などの長期の合理的財政試算計画に基づく設計を目指す。</li><li>3 ユニバーサルデザインの視点を重視して設計する。</li><li>4 上記条件を満たした上で、可能な限り芸術性、創造性を追求する。</li></ol> <p>この条件のもとで、公民館、図書館、中高生の居場所機能を備えることとしています。前川建築設計事務所の提案内容について、検討の余地がある部分、制約を受ける部分については、今後の検討委員会の中でご説明をしていく予定です。</p>
2	7月26日	松尾昇治	<p>本委員会の情報公開について 委員会に配付された資料や討議の状況については、市民に公開していく必要があると考えます。市ホームページを拝見しますと、「新庁舎建設基本構想策定市民検討委員会」のページがあり、各回の配付資料及び会議録がPDFファイルで公開されています。本委員会においても、同様に公開を行うべきです。さいわい、公民館のページに「(仮称) 小金井市貫井北町地域センター建設市民検討委員会 (公民館)」のコンテンツがありますから、ここを活用し、PDFファイルをアップすればいかがでしょうか。ご検討をお願いいたします。</p>	<p>(仮称) 小金井市貫井北町地域センター建設市民検討委員会については、</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 市民検討委員会委員の皆様のお名前は、市報7月15日号及び、ホームページ (7/15~) にて公開させていただいています。</li><li>2 開催のお知らせについては、毎月1日号の市報及びホームページ (毎月1日~) にて案内を掲載しているところです。</li><li>3 会議録につきましては、次の会議の際に校正後の会議録のご承認をいただき、その後、ホームページに掲載し、情報公開コーナー、図書館本館、議会事務局に配置する予定です。ただし、会議での配付資料は情報公開コーナー等には、全部添付して配置しますが、ホームページには、事業者が作成した平面図等については、省略させていただく予定です。</li></ol>

質問事項回答一覧 (7/14~7/28受付分)

平成22年8月11日配付

No.	受付日	質問者	質問事項	回答
3	7月28日	松尾昇治	<p>図書館の三要素は、施設、資料、職員といわれています。施設は本委員会で審議されますが、資料や職員についても、基本計画を練る上で欠くことのできない要素です。どのような資料群を収集するのかの方針（主に蔵書計画）がなければ、部屋のイメージや書架等のイメージがでないでしょう。さらに8万冊規模の図書をどのように購入するのかを考えて、それらを収集し整理していくためには2年間程の期間が必要でしょうか。この作業は経験のある司書の仕事です。そこで職員ですが、建設段階から図書館経験のある職員（司書）を担当者として配置することは必須のことと考えます。その上で、図書館と設計者との共同作業（コミュニケーション）を経て本委員会に提案される事案も多々あるでしょう。以上のことについて、図書館の対応をお聞かせください。</p>	<p>図書館では、本事業の担当職員として2名（司書有資格者）をあてていますが、他の事業との兼務体制となっています。開設準備担当として従事する職員体制については、現段階では未定です。資料群の構成につきましては、近隣に大学・高校があることを考慮したいと考えておりますが、委員会のご意見も伺いながら構築してまいります。</p>

## (仮称) 小金井市貫井北町地域センター建設「市民の声を聴く会」の結果について

- 1 開催日時
  - (1) 平成22年8月1日(日) 午後2時～4時
  - (2) 平成22年8月2日(月) 午後2時～3時25分
  - (3) 平成22年8月2日(月) 午後6時～7時15分
  
- 2 開催場所 市役所第二庁舎8階 801会議室
  
- 3 参加者
 

事務局 渡辺生涯学習部長 田中図書館長(8/1) 大関公民館長 上石図書館主査(8/2) 山崎庶務係長 渡辺事業係長 松下庶務係主事

事業者 (株)前川建築設計事務所  
橋本(代表取締役・総括責任者) 田中(意匠担当主任技術者) 畑野(意匠担当技術者)

参加市民等

(1) 男性	6名	女性	4名	計	10名
	(内 大学院生男性 1名)				
(2) 男性	3名	女性	2名	計	5名
	(内 高校生男子1名 大学生女子1名)				
(3) 男性	2名	女性	2名	計	4名
合計	男性	11名	女性	8名	計 19名
  
- 4 会議次第
  - (1) 「市民の声を聴く会」開始にあたって(館長)
    - ・ この会は何かを決定することを目的とするのではなく、ご意見、ご要望を出していただく会である。全3回で出された意見等は集約して次の市民検討委員会に報告し、検討課題とする。
  - (2) 計画概要について(館長)
    - ・ 平成26年4月開館予定の市内4つ目のセンターであり、市としては20数年ぶりのセンター建設である。市民の意見を反映させて図書館、公民館、中高生の居場所とするため、市民検討委員会を設置し、また、この「市民の声を聴く会」を設定している。
  - (3) 建物概要について((株)前川建築設計事務所)
 

(配付資料及び映像にて説明)

    - ・ 建物建設における基本設計の位置づけ、市内公民館、図書館の位置、市内公民館、図書館の規模比較、現時点での計画案の説明

※ 過日の市民検討委員会で「2階建、1階図書館、2階公民館」は合意を得ている。
  
- 5 市民からのご意見、ご要望及び質疑応答(別紙)

意見・要望・質疑	回 答
<p>●図書館について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今は単に借りるだけになってしまい、ゆっくり読むスペースがほしい。ガラスで仕切られた閲覧室であればゆったりできる。</li> <li>・映像関連の資料が少ない。若者に文化的なことを伝えられる施設であってほしい。</li> <li>・若者を重視して、他館にはないことを提案してほしい。</li> <li>・蔵書数はどの程度か。</li> <li>・靴脱ぎスペースの有無は。</li> <li>・施設（書架）の配置はどうなるのか。</li> <li>・中高校生を対象にした読み物はあるのか。</li> <li>・お話しコーナーが必要である。</li> <li>・児童コーナーと全く別の場所ではなく、カーテンで仕切る程度で構わないので、児童コーナーの中につくっていただきたい。</li> </ul>	<p>約6万冊の予定 100冊/m<sup>2</sup>で算出しているが、ゆとりをもたせるのであれば70冊/m<sup>2</sup>ぐらいも有り得る。</p> <p>必要だと思うが、今後市民検討委員会で検討していく。</p> <p>閲覧スペースは分けたい。</p> <p>周辺環境も配慮していきたいが、実際にその種の本が少ないのが現実である。</p> <p>以前、本館の2階に間仕切った部屋をつくったことがあるが、外部からの音がきになって、結局撤去した経緯がある。</p> <p>2階の公民館でも出来るようなことを検討している。</p>

意見・要望・質疑	回 答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・南大沢にある図書館は相模原市のカードも使えて便利である。参考にさせていただきたい。</li> <li>・寝転んで本が読めるスペースがほしい。</li> <li>●公民館について <ul style="list-style-type: none"> <li>・2階の5室はすべて学習室か。</li> <li>・保育のスペースは確保しているのか。</li> <li>・音楽室は防音設備をしっかりともらいたい。</li> </ul> </li> <li>・近くに住む者なので非常に楽しみにしている。外で遊ぶスペースとして陽のたくさんあたる屋上を利用できないものか。</li> <li>・お会いする方にどんな建物がほしいか聞いているが、屋上に若者が集うスペース、小さなお子さんをお持ちのお母さんは、子どもと一緒に軽食がとりたい、上階からの遮音をしっかりとしてほしい等の意見をいただいた。</li> <li>・若者からは音楽を練習する場所がほしいと聞いている。</li> <li>・可動間仕切り自体の遮音性に配慮してほしい。</li> </ul>	<p>これから検討していく。</p> <p>ダンスや太鼓、コーラスなどその内容によって響きは違うが、そこまでシビアに考えてはいない。建築的な設えはこちらで考えるので、どのような活動があるか教えていただきたい。</p> <p>遮音に配慮した音楽室は空調や電気の系統も他室と別系統にする必要がある。</p>

意見・要望・質疑	回 答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さな舞台付きの和室がほしい。大人だけでなく子どもものしつけにも利用できる。</li> <li>・緑センターのレクリエーション室のような室がほしい。社交ダンスなどに使えるが、音環境が宜しくないので考慮してほしい。</li> <li>・靴を脱いでくつろげるスペースがほしい。</li> <li>・現在の最大キャパが70名程度であるが、100名くらいは必要である。現在も参加希望者の多い催しは人数制限で半分くらいの方をきってしまったら、会場を分けて行う場合もある。</li> <li>・特に中高校生の間ではバンドブームで音楽施設は必須である。中高校生を呼ぶのであればスタジオ設備はなくてはならないもの。</li> <li>・屋上にはバスケット（スリーオンスリー）が出来るような運動スペースもあったほうがよい。</li> <li>・近隣学校としてどのあたりをターゲットとするのか。意見を聞くことが出来れば有効だと思われる</li> <li>・大人の意見とたまたま同じだったとしても、自分の意見が採用されたとなれば、施設を利用する意識が芽生えることとなる。</li> </ul>	<p>可動間仕切りを採用して有効に利用すべきである最近では水の問題や片付けの問題から、華道も洋室で行うことが増えてきているので、和室の固定概念を変える必要もある。実際に行われている活動を確認しながら進めていきたい。</p> <p>学芸大、中大附属高校を対象にお知らせしている。明日の14時から中高校生を対象とした声を聴く会を開くことになっている。</p>

意見・要望・質疑	回 答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東センターでは老人会が優先的に和室を使用していることが多く、空いているところしか使えない状況である。コルクの床も汎用性があり、和室にとられる必要はないように思う。</li>   <li>・地域センターという名称から東センターと同じような施設と勘違いされている方がいらっしゃるかもしれない。</li>   <li>●その他、建物について <ul style="list-style-type: none"> <li>・1階の平面図にトイレが見当たらないが。</li>   <li>・図書館で一日過ごすのに、軽食がとれるコーナーがほしい。</li>   <li>・ベビーカーを押していても、ゆとりのあるスペースとしてほしい（特に輸入品は大きめ）。</li>   <li>・男性用トイレにもオムツ替えベッドを設置してほしい。</li>   <li>・防災面（避難経路、避難口配置等）について十分配慮してほしい。</li>   <li>・構造面（耐震性）についても十分検討してほしい</li> </ul> </li> </ul>	<p>南・東センターは介護福祉課が所管する老人施設となっているが、北町センターは社会教育施設として使用するの、東センターのような状況にはならない。</p> <p>建物内部の大きなゾーニング（図書館と公民館）を表わしているの、細かな諸室は記入していないだけで実際には設ける。</p> <p>重要な問題で、調理を伴うか伴わないか（自販機コーナー）で大きく違ってくる。今後ロビーを検討するなかで一緒に考えていく。</p>

意見・要望・質疑	回 答
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公民館の入口部分はスロープか。</li> <li>・ 避難口は確保されているのか。</li> <li>● 駐車場について<ul style="list-style-type: none"><li>・ 駐車場はどれくらい確保されるのか。</li></ul></li> <li>● その他<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学芸大との連携（ものづくり等）を考えてほしい。</li> <li>・ 計画当初から中高校生に参画してもらった方がよいと思う。実際に杉並区では効果があったと聞いている。</li> <li>・ 緑センターが出来たときに分館がなくなるという話があり、署名運動で残すことになった経緯を踏まえ、今回も同じことが起きないようにしていただきたい。</li></ul></li></ul>	<p>前面道路の交差点側は敷地から1m程下がっているためスロープを設けている。</p> <p>必要な箇所に設置する。</p> <p>サービス（業務）用や身障者用などの必要最小限の台数を考えている。</p>

意見・要望・質疑	回 答
<p>●図書館について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような本が入ってくるのか。</li>   <li>・貸し出しだけでなく、勉強が出来る場所がほしいが、閲覧席はどのくらいあるのか。</li>   <li>・本が多くなった場合の保管はどうしているのか。</li>   <li>●公民館について</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防音室は貫井南ほどの広さは必要なく、複数必要である。</li>   <li>・防音室の利用者が増えてきたように思う。</li>   <li>・3、4名で利用している。</li> </ul> </ul>	<p>緑分室をベースとして、オールマイティーな内容になることが予想される。雑誌は41誌から100誌くらいに増やす予定である。何かに特化することも考えられるが、今後検討していく内容である。</p> <p>今後検討していく内容ではあるが、現時点では約100席弱となっている。書架の置き方によっても左右される内容で、どのような図書館にしたいのか(単に本がたくさんあればよい、DVDの視聴や新聞がゆったりと読める、インターネットが利用できる等)、皆さんの要望を踏まえて決めていきたい。</p> <p>新規に購入した分だけ処分しなければならない。</p> <p>(質問) 何人くらいで利用されているのか。</p>



意見・要望・質疑	回 答
<p>・親子連れの方に伺うと、保健センターで遊ばせている方もいらっしゃるようなので、北町センターのフリースペースが利用できれば有効だと思う。</p> <p>・羽村市の施設では絨毯敷きの上で子どもたちがカードゲームをしたり、テーブルでは親子が宿題をしたり、ロビー空間は非常に重要だと思う。ただ人が行き交うだけでなく、お互いの情報を共有できる場所にもなりうる。</p> <p>・杉並区ではミキシングルーム付きの防音室や、川崎市ではバスケットコートにロッククライミングができる場所もあった。</p> <p>・北町センターでは青少年が興味を持つようなものをもってこない、なかなか集まらないのではないかと。北町センター特有なものも必要ではないか。</p>	<p>夫して利用できる空間を目指している。</p> <p>小金井市は公共施設予約システムを採用しているが、打合せだけで使用の方も増え、倍率が非常に高くなっている。面倒な手続きを伴う部屋の利用ではなく、フリースペースを自由にご利用いただければと思う(可能性だけを提供して、使う本人に任せる)。管理上、必要最低限のルールづくりは必要ただし、現時点で図面にあるスペースがすべてフリースペースになると決まった訳ではない。</p>

意見・要望・質疑	回 答
<p>●駐車場について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・駐車場は何台程度とれるのか。</li></ul> <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・先生を志す学芸大生が地域の子どもたちの面倒ををみるような活動はあるのか。そのような活動を行政でコーディネートできないものか。ソフト面で検討してほしい。</li></ul> <p>〇〇支援の「支援」という言葉に馴染みがないので、別の馴染みのある言葉に変えた方がよいと思う。市民先導型にした方が盛り上がるのではないか。</p>	<p>サービス(業務)用や身障者用などの必要最小限の台数を考えている。</p> <p>様々な事業で学芸大にはお世話になっている。学芸大独自の目的や活動スタイルをお持ちなので、行政サイドだけの都合を押し付ける訳にはいかない。それらの活動が壁にぶつかった時にフォローすることは可能かもしれない。</p>

意見・要望・質疑	回 答
<p>●図書館について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館本館と北町地域センター内図書館の広さの違いについて</li>   <li>・他市の図書館は参考にされたか。</li>   <li>・他市（武蔵野市）で見られるような、閲覧机を使用するための登録手続きは省き、気軽に利用できるようにしてほしい。</li>   <li>・閲覧スペースには平らな机と斜めの机がほしい。</li>   <li>・他市では新しい雑誌が多く見られ、並べ方も見やすかった。</li>   <li>・他市ではコピー機が使いやすかった。</li>   <li>・インターネットが使用できるとよい。</li>   <li>・貸し出し期間は従来通りか。</li>   <li>・リサイクル本の扱いはどうなるのか。</li>   <li>・本館とは違った書籍を置いてみたらどうか。</li> </ul>	<p>本館は地下1階、地上3階建てで延床面積が約1800㎡に対し、北町地域センター内図書館は約600㎡を予定している。</p> <p>参考にしている。</p> <p>従来通り、3週間＋延長1週間の計4週間（最長）</p> <p>本館は常設となっているが、北町は公民館祭りなどの際に設置を検討している。</p> <p>中央線の北側エリアには緑分室しかないため、北町も何かに特化するのではなく、全般的に扱うことが予想される。</p>

意見・要望・質疑	回 答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館利用者はどの辺りの方々を想定しているのか。</li> <li>・ 近隣に障害者施設があるが、そちらの方も利用されるのか。</li> <li>・ 国分寺の図書館が使えるようにならないか。</li> <li>・ 本館の1階と北町の広さの違いはどの程度か。</li> </ul>	<p>市内北西部の方々を想定している。</p> <p>利用されると思われる。</p> <p>教育長を通じてお願いしているが良い返事がもらえないのが現状である。引き続きお願いしていく。</p> <p>本館の1階は開架書庫及び閲覧コーナーで約350㎡となっており、北町における開架書庫及び閲覧コーナーは、ほぼ同じ面積となっている。</p>
<p>● 公民館について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2階のバルコニーやロビーの使い方はどうのように考えているのか。</li> <li>・ 公民館の企画はどのようなものを考えているのか</li> </ul>	<p>写真展や絵画展などの展示にも利用できるが、自由に区切って、予約無しで打合せにも使えるようなスペースを考えている。</p> <p>これから皆さんと考えていく内容である。こういう活動をしたいので、こういう施設がほしい等の要望を出していただきたい。地域の課題を解決するために、皆様にご協力いただきたい。</p>

意見・要望・質疑	回 答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5集会所で手芸などをやっている。地域の方が講師となって季節の料理を作ったり、バザーなども開いている。図書館のポストができて便利になった。</li>   <li>●建物全体について <ul style="list-style-type: none"> <li>・北一会館との連携は考えているのか。</li>   <li>・建物の外観はどのように考えているのか。</li> </ul> </li>   <li>●その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新小金井街道は桜並木が美しく、交差点向かいのケヤキもきれいなので、周辺の緑を生かした計画としてほしい。</li>   <li>・現在、貫井北町はCOCOバスが通っていないが、今後通る予定はないか。</li>   <li>・交差点の信号待ちが長いので、利用者がそちら側から来るのか心配である。</li> </ul> </li> </ul>	<p>北一会館とは切り離して考えてほしい。</p> <p>建物自体は敷地の形状に馴染むように考えており、外観はほりが深く、木陰の中にあるような佇まいとしたい。2階のバルコニーには穴あきブロックを積んで直射日光を和らげ、同時に交差点からの音の進入を和らげることを考えている。</p> <p>既存の樹木はなるべく切らないようにしたい。</p> <p>北町地域センターの前はバスも頻繁に走り、交通の便はよいところである。</p>





